

梶原学園だより

小中一貫教育研究発表会

11月15日（金）、梶原学園小中一貫教育研究発表会が行われました。研究授業は、9年生の理科で、「酸性、アルカリ性の強さについて」の授業でした。

その後、研究協議を行い、全体会では、研究主任から梶原学園の研究の取り組みについて発表がありました。

今年度は、効果的なICTの活用について中心に報告がありました。ICT活用事例シート、6年生



小中一貫教育研究発表会

が制作した「梶原プロモーションビデオ」等について説明がありました。

講演は、文部科学省高等教育局専門教育課専門官の大根田頼尚氏に「学力向上と非認知能力の関連について」という演題で講演をいただきました。

新学習指導要領では、「何が出来るようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が大切にされています。一人一人の学力の伸びなどを継続して、把握していくことが大事であることをお話されました。

学力向上には、非認知能力である自制心・自己効力・勤勉性・やりぬく力が寄与していること、



高知新聞まほろば工場見学

子どもが学びに向かうときの態度や学習の仕方について把握することなど教職員に向けての講演をいただきました。

校外学習

11月25日（月）、全校でバスを利用して校外学習に行きました。1、2年生は、わんぱーくこうちに行きました。

3、4年生は、高知市清掃工場の施設見学をし、ごみ処理の余熱を利用した温水プールのある「ヨネッツこうち」で水泳をしました。

5、6、7年生は、高知城博物館を見学し、高知新聞まほろば工場で夕刊が印刷されている様



高岡地区PTA研修大会での全校合唱

子や高知新聞ができるまでのお話を聞きました。

8、9年生は、愛媛リサイクルセンターを見学し、環境問題について考える学習をしました。午後からは子どもの城で過ごしました。どの学年もバスの中では、出し物やレクレーションをして有意義な校外学習になりました。

高岡地区PTA研修大会

11月30日（土）、高岡地区PTA研修大会（梶原町大会）が梶原学園で開催されました。

この大会には、9年生の神楽発表、全校児童生徒による「ゆすはら」の合唱がありました。その後、梶原学園PTAの実践発表がありました。

講演では、映画「ビリギャル」の主人公小林さやか氏による「ビリギャル流不可能を可能に変える5つのルール」という演題で中学生全員話を聴くことができました。

今回、たくさんの方の高岡地区PTAの皆様の参加があり、梶原学園の児童生徒の発表、講演があり、盛大に終えることができました。

梶原学園PTAの皆様には、準備、駐車場係、受付など大変お世話になりました。